

景況調査(建設業)

7事業所

調査月：令和3年 9月

① 従業員の推移について(正規・非正規)

	(正規従業員数)		(非正規従業員数)		(状況コメント)
令和3年 6月現在	84	名	16	名	
令和3年 7月現在	84	名	16	名	
令和3年 8月現在	83	名	16	名	
令和3年 9月現在	84	名	16	名	

② 受注高の推移について

	前年同期に比べて						(状況コメント)
	←	かなり	やや	不変	やや	かなり	
令和3年 4月～令和3年 6月	増加	1	1	3		1	減少
令和3年 7月～令和3年 9月	増加	1	3	1		1	減少

③ 現時点の状況について

	前年同期に比べて						(状況コメント)
	←	かなり	やや	不変	やや	かなり	
「採算」はどうか？	好転		1	3		1	悪化
「資金繰り」はどうか？	好転		2	3			悪化
「業界の業況」はどうか？	好転		2	2	2		悪化

長期工事受注

④ 経営上の問題点について(上位の5項目)

(業種共通)	1	利益の減少		過当競争の激化	1	人件費高
		従業員過多	3	求人難	4	従業員の高齢化
		代金回収難	1	借入難		金利変動
	3	経営者の高齢化	2	後継者問題		
(建設業)	2	受注高の減少		工事単価の引き下げ	2	工事関連経費の増加
		一般経費の増加	3	設備の老朽化		支払期間の短縮
(その他)						

⑤ 行政又は、商工会に対して、今必要としている支援策は何ですか？(自由にお書き下さい。)

<行政の支援策>

荒廃農地が増え続け止まらないので自由度を上げる。農地法の緩和策の協議ができないのか？(農地にしてシイタケ用のクヌギ、コナラを植える。更地をトートキャンプ場や駐車場へ)このことにより、日銭収入の確保ができる。発想を変えてみる。
 町民全体の高齢化が顕著になってきている。農業は特に目立つようになってきたように思われる。農地については茶に代わる代替作物の研究をしっかりと取り組む必要があると思う。

<商工会の支援策>

